

衆議院議員 たけまさ公一  
2011  
「新春の集い」

開催日：平成23年1月7日（金）  
時間：18:00～  
場所：ラフォーレ清水園  
会費：5,000円

衆議院議員 たけまさ公一  
2011 難の里いわつき  
「新春の集い」

開催日：平成23年2月8日（火）  
時間：18:30～  
場所：酒蔵「天国」  
会費：3,000円

たけまさ公一を支え、応援する  
ボランティアスタッフ大募集！

～募集しています～

党員費 年間6000円  
サポーター会費 年間2000円

がんばれ基金

たけまさ公一を応援する個人献金です。  
(1口500円)×12ヶ月=6,000円より  
\*現金 \*振込み \*自動引落し  
個人献金は、寄付金控除対象になります。  
\* 詳細については事務所へご連絡ください



上記イベントについてのお問い合わせ、申し込みは・・・  
TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846  
E-mail: voice@takemasa.org ...までお願いいたします。

衆議院議員たけまさ公一 プロフィール .昭和36年(1961年)生まれ。  
さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業。  
平成元年、松下政経塾卒業。  
平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選。平成21年8月30日、衆議院議員4期目当選。  
鳩山内閣外務副大臣、第一次菅内閣外務副大臣、(国会)予算委員会理事、海賊テロ特委理事  
(民主党)常任幹事、選対委員長代理、地域主権調査会長

たけまさ公一事務所・所在地  
浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階  
TEL:048-832-3810 FAX:048-832-3846  
岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5 5-12  
TEL:048-749-6801 FAX:048-749-6802  
国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312  
TEL:03-3508-7062 FAX:03-3519-7715



国政・新時代！

民主党プレス民主編集部  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988 (代表)  
民主党埼玉県連広報局  
さいたま市浦和区高砂3-6-16  
電話 048-833-3500  
FAX 048-833-3503  
URL http://minshu.org  
E-mail info@minshu.org

～たけまさ公一衆議院議員国会レポート～ 第118号



謹賀新年

「2011年 たけまさの決意」

地方分権・地域主権改革の推進～ひも付き補助金の一括交付金化、  
国の出先機関の見直し  
新成長戦略の実行～EPA・FTAの推進、アジア金融市場の創設  
議員外交の推進～日米同盟の深化等  
職業教育の充実～ガイダンスカウンセラーの配置  
社会保障制度と税制抜本改革～医療・介護・福祉の充実に向けて  
規制改革の推進～電波のオークション制度の実施  
公会計等の見直し～税収予測を的確に  
埼玉県・さいたま市の課題と解決～見沼100年ビジョンの推進、  
地下鉄7号線の岩槻延伸の実現

# 平成23年度税制改正大綱が決定（12月16日）

税制改正大綱は平成23年度予算案に「成長と雇用」を掲げたことに対応した内容と考えます。また、大綱の柱の考え方は「控除から給付へ」であり、税制の基本である「公平、透明、納得」から複雑多岐になりすぎた「租税特別措置」の見直しです。しかし、成年扶養控除は見直ししたものの、配偶者控除については専業主婦の家庭での育児介護をはじめとする役割を考え、今回の見直しは見送りとなりました。目玉は、法人税の減税で税率を30%から25.5%へ（国税と地方税合わせた法人実効税率を5%引き下げる。）中小企業の軽減税率も18%から15%へ。その分の財源を高額所得者に対する増税や、相続税の増税に求めました。一方、中小企業の事業承継については継続で、加えて使い勝手の良いものへの見直しが盛りこまれました。また、NPO法人への税額控除が大きく前進したのは「新しい公共」を掲げた政権交代以来の取り組みで雇用を創出する場としての期待の現われです。来年度半ばには消費税を含む税制の抜本改革について結論を得ることも明記してあります。

# 平成23年度予算案閣議決定（12月24日）

平成23年度政府予算案の規模は、一般会計の総額が92兆4116億円となり、22年度当初予算を1124億円上回って過去最大となりました。税収は3兆円増の40兆9270億円を見込みますが、国の借金にあたる新規国債の発行額は44兆2980億円と、過去最大だった22年度並みを維持しました。政府は、財政健全化の計画を定めた「財政運営戦略」で新規国債の発行額と、過去の借金の利払い費を除いた歳出額を22年度以下にする方針を決めていることを受けたものです。菅総理は「成長と雇用」を掲げ予算編成に臨みました。22年度予算案から各府省10%削減により来年度概算要求はスタート。プラスアルファ分は「政策コンテスト」で決めるという新手法も取り入れました。昨年夏衆院選マニフェストについては、子供手当の増額（3歳児まではプラス7000円）、農業者個別所得補償につ

いては米以外の主要作物へ拡大しました。また、「求職者支援制度」を創設し、求職者の生活費を一定期間給付し、失業から生活保護へという連鎖を断ち切ろうとしています。また、所信表明演説で示した「強い社会保障」「地域主権の確立」「主体的外交」にも対応しました。特に、民主党地域主権改革調査会（会長：武正公一）の提言を受け、都道府県分5000億円を超えるいわゆるひも付き補助金[社会資本整備総合交付金の一部（国土交通省）、農山漁村地域整備交付金の一部（農水省）、学校施設環境改善交付金の一部（文科省）]の一括交付金化を実現しました。しかし、税外収入で何とか7兆円を超える額をかき集めた野田財務大臣が「1日も早く財政健全化への道筋を歩めるようにしなければならない」と述べたように、引き続き各府省の行政事業レビュー（内からの支出見直し）や事業仕分け（外からの支出見直し）に加え、公務員総人件費2割削減、国会議員定数削減（歳費削減も含む）などにも取り組む一方、来年度は消費税を含む税制の抜本改革の議論に結論を得なければなりません。

## 民主党埼玉県第1区地方議員並びに公認決定者



**浅野目 義英**(県議・浦和区)  
昭和33年生まれ  
民主党・無所属の会  
警察危機管理委員会  
公社事業対策特別委員会



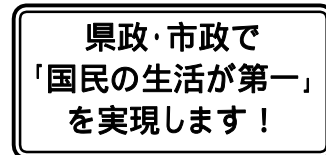
**井上 将勝**(見沼区)  
埼玉県議会議員公認決定者  
昭和54年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事



**高野 秀樹**(市議・岩槻区)  
昭和35年生まれ  
民主党・無所属の会さいたま市議団  
文教委員会 委員長  
予算委員会



**武田 和浩**(見沼区)  
さいたま市議会議員公認決定者  
昭和36年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事



**神崎 功**(市議・緑区)  
昭和30年生まれ  
民主党・無所属の会さいたま市議団  
副代表  
市民生活委員会



**三神 尊志**(市議・見沼区)  
昭和55年生まれ  
民主党・無所属の会さいたま市議団  
市民生活委員会



**末広 慎二**(岩槻区)  
さいたま市議会議員公認決定者  
昭和55年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事



**松岡 耕一**(緑区)  
埼玉県議会議員公認決定者  
昭和51年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事



**原田 健太**(市議・浦和区)  
昭和42年生まれ  
民主党・無所属の会さいたま市議団  
まちづくり委員会



**小柳 嘉文**(浦和区)  
さいたま市議会議員公認決定者  
昭和40年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事



**石田 昌生**(緑区)  
さいたま市議会議員公認決定者  
昭和35年生まれ  
民主党埼玉県第1区総支部幹事